



親子道徳にご協力いただき、ありがとうございました！

10月に実施した親子道徳では、新たな視点で議論をした方、お家の人から子どもにむけたあたたかいメッセージを書いて下さった方がたくさんいました。今回は「お家の人と一緒に考えたこと」、「お家の方からのあたたかいメッセージ」の2つを紹介します。

ぜひ、これからも道徳の話をご家庭でもどんどんしてみてください。

お家の人と一緒に考えたこと



1年 「こころはっぱ」(友情)

わたしは、お話の中にあったいのししの気持ちをわかってくれる「こころはっぱ」に会いたいと思いました。いつか「こころはっぱ」のように人の気持ちをわかってあげられる人になったら素敵だねと話しました。

2年 「あいさつっていいな」(礼儀)

朝、あき子ちゃんが家族にもきちんとあいさつをされていてすごいな、いい子だなと思いました。家族だからと、あいさつをしないことがあります。朝から元気にすごすためにも、きちんとあいさつをしていこうねと話しました。

3年 「なかよしだから」(友情)

2人ともちゃんと意見を話せばよかったと思います。2人とも分かり合えていたならよりよい友達になれるのではないかと話し合いました。

お家の人からのメッセージ

4年 「日曜日のバーベキュー」(規則の尊重)

急いでいたこととはいえ、やってはいけないことだと思いました。後から罪悪感だけが残り、嫌な気持ちが残ってしまいます。何事も相手の立場に立って考えることが大切な事だと思います。

5年 「かれてしまったヒマワリ」(集団生活の充実)

きめられた仕事や役割をきちんとやりとげる事は、今後の人生にも必ず役に立ちます。責任は人を成長させてくれます。「まあ、いいや。」と言った、さぼりの心は、まわりの人に迷惑をかけてしまいます。さぼりたいと思う弱い心を、責任をもって仕事や役割を最後までやり抜くことで、強くたくましい心に変えていってください。

6年 「言葉のおくりもの」(友情)

自分が言われて嫌なことは友達に言わない、反対に言われたり、されたりして嬉しいことや友達のいい所はどんどん伝えていこうと話しました。よい友達であるためには、友達にも感謝の気持ちを忘れないことが大切です。